

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2091100061		
法人名	有限会社すまいる		
事業所名	グループホーム風のコーテージ		
所在地	長野県中野市間山838番地2		
自己評価作成日	令和元年8月26日	評価結果市町村受理日	令和元年10月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お一人お一人にあった時間で生活ができ、家庭的でゆったりとした空間の中で利用者もスタッフも楽しく過ごせるようにしている。
 重度の認知症、障害があっても介護量が多い方でも、入所をお断りせず入所して頂くことができる。
 業務を優先せずスタッフと利用者間に介護する側、される側という垣根をつくらない。
 日常的に系列の宅老所と交流を持つことができ、お花見等の行事も一緒に行える。
 生活してきた環境の中で穏やかに最期の日を迎えることができるよう、ご本人やご家族が望む形の看取りを行っている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2091100061-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

中野市間山地区の、北信五岳の山々を一望する開放感あふれる環境の中に当ホームがある。開設から10年目を迎え、「家庭的な雰囲気大切に……」等、3つの法人理念に加え、「一日1回は利用者さん全員に声を掛け、お互い様の精神を持ち、楽しい職場にしよう」という本年度のホーム独自の取り組み目標を柱に据え、利用者寄り添った支援に取り組んでいる。利用者の平均年齢90歳、平均介護度3.47と高齢化が進んでいる状況であるが、職員は工夫を重ね、介護する側、される側の垣根を作らないよう元気で楽しく過ごすこと意識をし支援に当たっている。そのような中、利用者と職員の距離を身近にすべく居室担当を設け、職員1名が2~3名の利用者を担当し、家族との連携も密に取り合いながら外出等の計画を立て、年数回は「利用者、家族、職員」3名の少人数で外出し、希望に合わせた食事やドライブ等を楽しんでいる。合わせて家族の来訪し易い環境作りにも心掛け、ホームの造り自体が施設らしさを感じさせない雰囲気、なおかつ職員の対応も丁寧で、利用者一人ひとりに合わせ「方言」なども交えながら親しみを込めて接している。伺った時も週2~3回は来訪されると言う家族があり、利用者の食事介助をしながら食事を取りつつ笑顔で他の利用者とも楽しそうに話をされている場面を見させていただいた。また、毎日、利用者職員と一緒に「おやつ作り」をすることが日課となっており、一つの話題として「大相撲」上がり賑やかに楽しいひと時を過ごしていた。介護度も高くなって来ているが、利用者職員が一体となり、日々楽しく笑顔で過ごしている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和元年9月20日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				